

令和2年5月12日

生徒及び保護者の皆さんへ

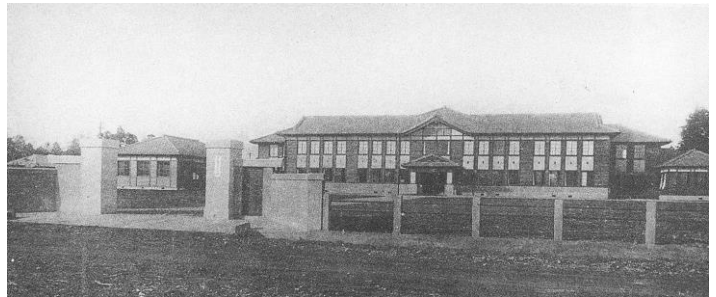
聖和学園高等学校  
校長 庄子 英利

### 創立90周年記念日に寄せて

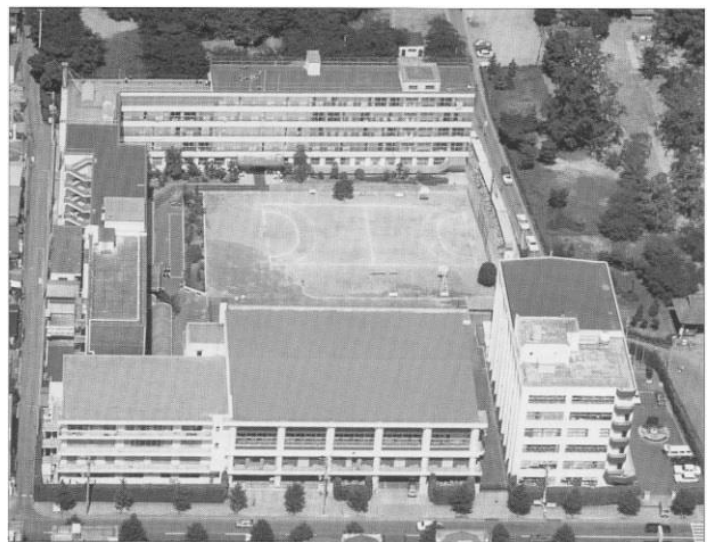
5月12日は本校の創立記念日です。今年は創立90周年にあたります。

本校の開校に至る経緯は、昭和4年（1929年）に遡ります。当時、宗派を超えた宮城県仏教会が設立され、その目的の一つに、仏教主義による高等女学校の設立がありました。吉田つぎ女史の寄付により、伊澤平左衛門氏を設立者として、翌年、昭和5年4月8日に当時の東三番町にあった東本願寺別院に仮校舎を設け、入学式を行いました。5月12日に木ノ下の地で地鎮祭が行われ、以後この日を創立記念日としてきました。

右上の写真は当時の本校舎です。昭和53年の宮城県沖地震により被災したため、創立当時の木造校舎は取り壊されました。昭和37年～55年に順次建てられた鉄筋コンクリートの校舎(右下の写真)も老朽化が進み、平成15年、現在の地に新校舎（薬師堂キャンパス）が建設されました。同時に、太白区土手内に三神峯キャンパスを設置して、男女共学の聖和学園高等学校がスタートし、今年18年目を迎えました。



本校卒業生は、三万九千名となりました。同窓生の皆さんは、級友や先輩、後輩、そして先生方とともに高校生活の苦楽を経験する中で、社会性や協調性、思いやりの心の大切さをしっかりと身につけてきました。今も同窓生は大変強く深い絆で結ばれています。



5月12日は本校の誕生日ともいうべき大切な日です。今日は、本校創立90周年記念式典を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休業のため、式典は延期となりました。生徒の皆さんには、90年の歴史を刻んできた輝かしい伝統に思いを寄せ、聖和学園高校の生徒であることの自覚と誇りを持ち、今日一日を過ごしてほしいと思います。